

みずえだに新聞

Vol. 9
2014年10月
秋号



院長のささやき

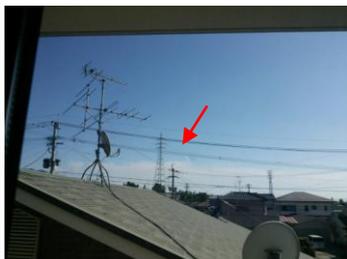


2014年10月7日。皆さん、何の日かわかりますか？つい最近の事ですが、記憶に新しいかと思えますが、我が鹿児島県の知覧出身の赤崎勇氏が栄えあるノーベル物理学賞を受賞された日なのです。赤崎氏は現甲南高校から鹿児島大学、京都大学と進まれ、企業を経て名古屋大学の教授となられました。省エネで長寿命の照明に使われる高輝度の青色発光ダイオード(LED)を開発されたことが評価され、今回の受賞となりました。スウェーデンの王立科学アカデミーは「世界の電力が乏しい地域で、15億人以上の人々の生活向上が大いに期待できる」と

讃えました。

ちよつとわかり難いかもしれませんが、もっと身近なものに例えると、信号機の場合LEDに変わったことにより1年間の電気代が18億円節約出来たという。また携帯電話のバックライトなどにも使われていますが、このバックライトがLEDではなく従来の電球を使用した場合、充電は半日しか持たないという。この恩恵たるやすごいものです。そんな世紀の大発明を我が鹿児島の先輩がやってのけられました。本当に感動ものですよ。さらにこの日にはもう一つ素晴らしい出来事が起こりました。種子島から気象

庁の次期気象衛星「ひまわり8号」を搭載したH2Aロケットが発射され、見事打ち上げに成功しました。鹿児島も捨てたもんじゃありません。一日のうちに世界的なニュースが、しかもこの鹿児島に関わるニュースが二つも飛び交う事になるとは！同じ鹿児島の人間として誇りに思うと同時に偉大なる先輩方に負けぬよう、これからも努力して行かねばと思うところでした。



部屋から見えたロケット雲
見難〜い！

つい先日ですが、10月10日から12日にかけて、神奈川県横浜にて「ワールドデンタルショー」なるものが開催されました。この規模のものは4年に一度しか開催されないため、少しでも先端の技術を習得したり、あるいは道具を見つかったり、情報を収集したりと、皆様にはご迷惑をお掛けいたしました。が、医院の方を休診に致しまして参加して参りました。今の時代、インターネットなどの普及もありまして、鹿児島に居ながらにして情報などは得ることが出来ますが、世界的に有名な先生の話の聴いたり、実際に道具を手にとってみると、生でしか味わえない事も多数あり、参加して本当に良かったと思っております。そして是非とも今後の診療に反映させ、皆様にも少しでもいい治

ワールド デンタルショー in 横浜

療が出来るように精進して行きたいと思っております。

せっかく横浜に来たという事で、最終日には横浜中華街、赤レンガ倉庫、ラーメン博物館などに行く予定でした。ところが、鹿児島に帰る日、台風19号の接近。帰りの飛行機が欠航となり、新幹線での帰鹿を余儀なくされました。結局行けたのは会場の「横浜パシフィコ」近くの赤レンガ倉庫のみ。残念ではありましたが、とても貴重な、思い出深い経験となりました。



横浜
赤レンガ倉庫

最新医学情報

唾液分析で癌発見!

癌の早期発見が増えるのか?

唾液を分析して調べるだけで癌を発見できるようになるかもしれないという『メタボローム解析技術』が各メディアで取り上げられて話題になっています。どうやって調べるのかというところやアミノ酸など54種類の物質について健康者と癌患者とで濃度などの数値が跳ね上がっているものを特定し、なぜ数値が違うのかを原因を探る事で癌を識別するというのです。

どんなに小さな癌細胞であっても、唾液中には反応が起きるようで、癌を早期に発見する事が出来ると言い、高い精度で見分けられるようです。

口腔癌で80%、乳癌で95%、膵臓癌に至っては99%の精度で識別できると言います。膵臓癌と言えばAppleの創業者であるスティーブ・ジョブズ氏が患った病気であり、明確な症状が出ないため早期発見が大変難しく、



発見された時には手遅れになっていく事が多い癌の中でも恐ろしい病気。

研究が進んで期待される事

この研究が進めば早期発見が増えて、助かる患者が増えるかもしれないと期待されています。

膵臓癌に限った事で言えば、最近では試験紙をなめるだけで判定出来るような検査キットの開発が進んでいて2013年現在では約84%の精度との事です。今後に期待ですね。



☆患者さんの声

患者さんから、「みずえだに新聞」は毎回楽しみに読ませてもらっていますという声を聞く反面、患者さんからの意見が足りないのではないかとというご意見を頂きました。そこで今号から少しでもご協力を頂きながらそのような声をお届けしたいと思えます。その第一号田畑さんも歯の大事さを是非皆さんにお伝えしたいとの事で、協力して下さいました。

次なる協力者も募集しています。是非お声をおかけ下さい。

田畑安夫さん

孫がお世話になっている御縁で、娘に勧められ私も「みずえだに歯科」に通ってやがて三年になります。この間悪い歯は抜き、部分入れ歯にして貰いました。その後、月に一度チェックをして頂いて居ります。入れ歯の調子が良く、硬いものでも平気です。でも特に硬いものを食べる時は、歯をいたわる気持ちで自然と出て慎重に噛みます。若い時は、母の入れ歯を見てもいい印象はなく、ただ漠然と見ていま

したが、あつという間に私がそうになりました。歯を失って初めて歯の有り難さを痛感しております。歯の磨き方も教えて頂きました。以前から一日三回以上、歯間ブラシを使ってよく磨いていたと思っていました。しかし強く磨けば良いかと思ひ込みと自己流で間違っていて大変勉強になりました。八〇二〇にあと十年半、歯は一本多いですが、多分無理でしょう。しかし頑張りますのでスタッフの皆さん、どうぞよろしくお願いします。

それにしても皆さんに申し上げたい事は、歯医者さんへは若いうちに、歯が丈夫なうちに、歯が痛くないうちに行ってくださいという事です。そうすればきれいな歯が長く続くでしょう。どうぞ周りの方に勧めて下さい。老婆心ながら・・・(実は娘にそのような話したら、「お父さん心配しないで、私もお父さんと同じように後悔するから・・・」だと、コノヤロー!)

★田畑さん、ご協力本当に有難うございました。八〇二〇を絶対達成すべく、一緒に頑張りましょうね。



今回の言葉

そうですね・・・したのに・・・や・・・してあげたのに・・・と「に」がつくと、見返りを求めているので愚痴になりますね。・・・してあげたい・・・や・・・したい・・・自己発信で無償の心でやれると愚痴にならないと思います。

あんなにしてやったのに「に」がつくとぐちぐちがでる

by 相田みつを(詩人・書家)

お知らせ

★気が早いですが、恒例の餅つき大会を12月20日(土)の午後から行います。皆さん、こぞって遊びにいらして下さい。

★これまた恒例の「みずえだに歯科・カレンダー」を12月に入る頃からお配り出来るかと思えます。毎年好評のカレンダーです。お要りの方は是非12月は来院して下さいね。(^^)v

こんにちは。みずえだに歯科、受付の今掛です(笑)顔はわかるけど、まだ名前を覚えていただく機会がなかったと思いますので、この場をお借りして私の素顔をご紹介したいと思います。最近の私と言えば、家の中で過ごすより外に居る事の方が多いですね。というのも、体を動かす事が好きなので活発に過ごしています。特に私は、中高と部活でテニスを経験していますので、休日は友人や当時の仲間と



コート借りていい汗を流しています。当時を思い出して本気で勝負する事もあります。充実した楽しい時間です(笑)近々、クラブチームにも入りたいなと考え中・・・いい所があれば教えて下さいね。

私、テニス頑張ってます！

受付 今掛真菜

「グループホームよしの村」にて

副院長講演



去る8月28日(木)、グループホームよしの村より講演依頼がありまして、副院長が講話して参りました。貴グループホームご利用の方のご家族・地域の民生委員・自治会などの代表の方等に向けて、介護にも深く結びつきのある、口腔に関する話をして欲しいとの依頼でした。当院は開業当初から地域に根差した歯科医院作りをモットーにやって参りましたので、このような機会を頂き、喜んで協力致しました。入所の方々のためのお話でしたが、トレーニング等についてのお話をするに参加された方々も一緒に口や舌を動かして、「なかなか難しいねえ」と言いながら実践して頂きました。高齢になると誤嚥性肺炎のリスクが高まる事が言われています。皆さんも是非、身の回りにそのような方がいらつしやいましたら、口腔ケアを実践してみして下さい。



『アルバムニューヨークシリーズ#62』



先日、学会参加のついでに、ふらつと立ち寄ったお店で、芸術の秋にふさわしい絵と出会いました。数多くの絵の中で、院長が気

との出会い

一期一会
『ベルナル・ビュッフエ』

幸恵先生の
歯のはなし



に入った絵は直線的で、モノトーンに近い力強いリトグラフ、私が入ったのはブルーの花を題材にした物。絵の印象は明るくはないのですが、何故か目を奪われます。一枚の絵はどちらも同じ画家のものでした。

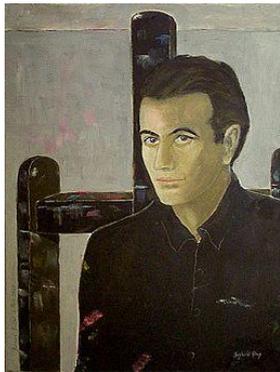
ベルナル・ビュッフエをご存知でしょうか？私は全く知らなかったのですが、戦後フランスで活躍した画家（一九二八〜一九九九）です。鋭くとげとげしい黒い線と、モノトーンに近い少ない色数で表された作品は、第二次世界大戦後の荒廃した時代の気配をみごとにとらえたと絶賛され、ビュッフエは一九四〇年代末に、「時代の証人画家」として一躍脚光を浴びました。また親日家でもあり、金閣寺や富士山も題材にしています。私生活ではあまり恵まれず、晩年にはパーキンソン病を患い71歳で生涯を閉じています。素敵な絵を眺めながら、非日常を

『花瓶の花』



満喫し、仕事を離れて、ちょっと息抜きが出来たそんな時間でした。

静岡県長泉町には彼の作品のみを収蔵・展示するベルナル・ビュッフエ美術館があるそうです。で、時間が出来たら訪れてみたいと思います。「歯の抜けた顔」という作品も描いているようですので、いつか見てみたいと思います。まさに「一期一会」。本当に思ってもやらぬ出会いでしたが、「ビュッフエ」、好きになりそうです。



ベルナル・ビュッフエ

7月の始め、城山観光ホテルのビアガーデンにスタッフみんなで行って来ました。見て下さい、この生き生き感。仕事中には絶対見られない表情です。この日はちょうど対岸の桜島で花火大会があつて、我々のビアパーティーに花を添えてくれました。やっぱり、夏はビール最高！

ビアガーデン最高！！！！

於 城山観光ホテル



編集後記

今回もまた発行が遅れてしまいましたことをまずお詫び申し上げます。

決してサボっているわけではないんです。どうしても載せたい記事があったりしまして、その日程の関係からこのようになってしまいました。（ちよつと言いつつおぼいですが？）でも内容だけは決して妥協してはおりません。次回、患者さんの声に記事をお寄せ頂ける方は受付まで！